

## 第27回日本プラグフェスト開催報告 —プラグフェスト実行委員会—

第27回日本プラグフェストを開催いたしましたので報告いたします。

日本プラグフェストは、同一のインターフェース規格を使用するメーカー同士が、相互運用性を検証するための技術イベントです。ワールドワイドで新型ゲーム機のリリースを目前にして、世界シェアの高い海外メーカーが2社参加。また、参加チームの多くが、ゲー

ムモードや4K/8K対応の最新機能を搭載した機材を持ち込み、市場トラブルを未然に防ぐ為、実際のユースケースを想定し、複数の機器を同時に接続するシステム試験を事務局で設定し、接続試験を実施。各参加メーカーの機器から数多くの想定外の挙動が検出され、とても有意義な機会を提供することが出来ました。

### 【会期・場所】

会期：2025年5月29日(木)～30日(金)  
場所：横浜シンフォステージ ウェストタワー5階 セミナールーム  
主催：一般社団法人組込みシステム技術協会(JASA)

### 【目的・特徴】

同一インターフェース規格(HDMI)を持つ製品間の相互運用性を検証し、確実なものとする事で、不具合解消や品質の向上を目的としています。参加メーカーは、ソース機器1、シンク機器2、リピータ機器3に分かれ、自社製品と他社製品との接続を行い、通信・映像・音声・暗号化検証において規格に準拠した通りの挙動となっているか、安定的な接続がなされているか等、細かく検証します。また日本プラグフェスト独自の試験項目を策定し実施することで、参加メーカー全体の品質向上を促しています。

### 【参加メーカー・機種】

●参加メーカー 16社 53名  
●参加機種 シンク機器 11機種(TV、プロジェクタ等) / ソース機器 4機種(BDレコーダ、ゲーム機等) / リピータ機器 5機種(AVアンプ、AVLシーク等) / ケーブル 1機種(ケーブル)

### 【次回の予定】

●日時 2025年12月 ●場所 地方独立行政法人 東京都立産業技術研究センター  
●テスト規格 HDMI ●参加資格 HDMI搭載機器メーカーおよび、ケーブルメーカー  
●参加料金 1名 22,000円(税込)  
詳細につきましては、日本プラグフェストHP (<http://www.jasa.or.jp/TOP/plugfest/top/>)にてお知らせいたします。

1. デジタルコンテンツを出力する機器(BDレコーダ、デジタルカメラ等)
2. デジタルコンテンツを受信し表示する機器(TV、プロジェクタ等)
3. ソース機器とシンク機器間で、信号の再送信等を行う中継機(AVアンプ等)

### 【試験方法】

**個別試験** ●各チーム3社の試験 ●1スロット70分  
**システム試験** ●ソース・リピータ・ソース・ケーブルの複数チームと接続する試験 ●日本プラグフェスト独自の試験を用い、一般家庭での複雑な機器の組み合わせを再現

### 【参加者からのご意見・ご要望】

- 毎回接続イベントを開催していただき、事前準備から運営、撤収まで、お忙しい所本当にありがとうございます。また今回場所を提供いただいたヤマハ様にも大変感謝しています。
- 会場が駅から近いとありがたい。京都が難しいなら関東圏や東海もありだと思いました。
- 自社での開催は気持ち的には楽でした。他社さんがどのように思われていたか気になります。セキュリティエリア等の都合で移動に関しては少し不便をおかけしたのではないかと考えています。
- 短い場合がおおかった。接続する機器数次第。同一チームで2台3台接続する場合は時間が足りない。機器数に応じてフレキシブルにもしくは80～90分



## 近畿支部セミナー開催報告 —技術&ビジネス分野から3つのテーマで実施—

2025年5月から6月にかけて、近畿支部は3つのセミナーを開催しました

技術セミナーでは、近畿大学の蔭山享佑氏に、モバイルデバイス向けプロセッサの最新研究についてご講演いただきました。高性能、プログラマブル及び汎用性を兼ね備えたモバイル機器プロセッサのアクセラレータ「連想メモリベース超並列SIMD型演算コア(CAMX)」を用いたマルチメディア処理に関して紹介されました。また、学生の研究内容もうかがうことができ、モバイルシステム開発者やテクノロジーに関心のある方々にとって、プロセッサ技術への理解を深める貴重な機会となりました。

総務セミナーでは、トラストリング株式会社の島田大学氏を講師に迎え、従来の「採用コストを上げる」「採用媒体を増やす」「採用工数を増やす」施策ではなく、企業の魅力に共感する人材を集める『コンセプト採用』を取り入れることで、5年前まで数応募しか来なかった中小企業が採用倍率90倍の採用人気企業になった秘密を解説いただきました。低コストで多くの応募を獲得するポイントや、人を動かす3要素など、具体的な事例を交えながら採用の新たなヒントが提供されました。

ソフトウェア業界で働く女性のためのセミナーでは、日本リレーション株式会社の浅尾京子氏によるパーソナルカラーについてご

講演いただき、ワンポイントレッスンも行われました。自分を引き立てる色を見分け、自信を持って仕事やプライベートに臨むためのヒントが提供されました。

その後、講師も招いて女性のみで行った懇親会では、会話が途切れることなく大変な盛り上がりを見せ、通常とは異なる活気にあふれた時間となりました。

近畿支部では今年度「インクルーシブIT研究会」を計画しており、多様な人々がIT業界で活躍できる環境を共に考える第一歩となりました。



当日の様子

# 大阪・関西万博 2025でドローンシミュレータのデモを実施

JASA ドローンWG、OpenEL WGが主体となり、大阪・関西万博で箱庭ラボのドローンシミュレータを活用したデモンストレーションを実施しました。デモンストレーションでは、機体メーカーイームズロボティクスとコラボしました。デモ以外にも、イベント広場で様々な体験イベントをおこないました。

大阪ヘルスケアパビリオン催事の主催者はTISINTECであり、JASAは協力という立場で参加しました。WG活動を通じて、デジタルツイン技術を活用したドローンのバーチャル/リアル空間のコンセプトを軸に、2つのイベントをおこないました。



## バーチャル観光

リアル側で実機のドローンを東尋坊（福井県）で飛行させました。万博会場からバーチャル空間の東尋坊のある地点まで飛行すると、リアル空間の東尋坊の映像に切り替わるといったシナリオです。

この催事は、大阪ヘルスケアパビリオンの催事テーマ「REBORN“人は生まれ変わる”、“新たな一歩を踏み出す”」にそったもの。車いすで生活されている方に視線操作でのバーチャルドローン操作を行ってもらい、リアル空間東尋坊との連携したバーチャル観光ツアーが体験できる内容としました。

## 技術で子供たちと明るい未来を

万博催事にあたっては、催事会場の広場で体験イベントの開催を構想し、「技術

で子供たちに明るい未来を！」をテーマに様々なイベントを開催しました。

## トイドローン体験イベント

株式会社ozora、一般社団法人しなみドローン協会さんのご協力を得て、トイドローンの体験イベントをおこないました。イベントには、100名を超える観客の方に参加頂きました。子供たちが多く参加してくれ、楽しく、そして真剣にドローンを飛ばす姿が印象的でした。

## 地上走行ロボット体験イベント

OpenEL WGが中心となり開催。イベントのテーマは、「cobot（協働）」として、ロボットが人にとって身近になることをアピールしました。

テーブル上のコースをゲームコントローラで操作できるモノと、コマンドベースで操作でき

るモノの2つのタイプを用意しました。子供たちにロボットの動作が理解しやすいようにしました。

## ARドローン体験イベント

JASAドローンWG、箱庭ラボが中心となり、XRゴーグルを使ったARドローン操作体験イベントを開催しました。150名超の集客ができ、特に催事終了まで、多くの子供たちが順番待ちをしながら、体験イベントを楽しんでくれました。年齢や国籍を問わず、“初めての体験”に目を輝かせて体験を楽しめる素材であったことが印象的でした。

## 大阪・関西万博の催事を通じて

JASAで培ってきた技術アピール、他の企業、団体とのコラボした体験イベントを通じて、更に進化した技術で人々に喜んでもらえるように進化をしていきたいと考えています。

今回の催事対応においては、ドローンというキーワードに興味を持ったメンバーが集まり、催事に参加した一人一人が役割を考えて対応したことで様々な技術力が集結したことが成功につながったと思っています。



## 異業種交流会 BBQ Party（関東支部）開催報告

2025年5月24日（土）、JASA関東支部主催による「異業種交流会 BBQ Party」が「BBQでらす御来光」にて開催されました。

本イベントは、業種や職種の垣根を超えた交流を目的に、中堅・若手社員を中心としたメンバーが集い、7社25名の参加者にて開催されました。参加者は4人ずつのテーブルに分かれ、美味しい食事とともに和やかな雰囲気の中で会話を楽しみました。

会場では、初対面同士でも自然と笑顔が交わされ、業務の話から趣味の話まで幅広いトピックが飛び交い、活発なコミュニケーションが生まれていました。日常業務では得られない視点に触れることができた、貴重な機会となったのではないかと考えられます。

ご参加いただいた皆様に心より感謝申し上げます。関東支部WGでは今後も、こうした交流の場を継続的に設けてまいりますので、次回開催にもぜひご期待ください。

